

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4674200060
法人名	社会福祉法人伸志会
事業所名	グループホームのぞみ
訪問調査日	平成 19年 9月 8日
評価確定日	平成 19年 11月 30日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

○記入方法

【取り組みの事実】

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

【取り組みを期待したい項目】

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけます。

【取り組みを期待したい内容】

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

成日2007年9月28

[評価実施概要]

事業所番号	4674200060
法人名	社会福祉法人伸志会
事業所名	グループホームのぞみ
所在地	〒895-1502 薩摩川内市祁答院町蘭牟田2103番地6 (電 話) 0996-31-8101
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田二丁目48-13
訪問調査日	平成19年 9月 8日

[情報提供票より] (平成19年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算 15.4人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り
	1 階建ての 1 階 ～ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	9,000 円	その他の経費 (月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食 円 昼食 円	夕食 円 おやつ 円	
	または1日当たり	780 円	

(4) 利用者の概要 (平成19年 7月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	1 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 83.9 歳	最低 74 歳	最高 93 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	クリニックのぞみ・鶴田中央病院・やなぎた歯科
---------	------------------------

[外部評価で確認されたこの事業所の特徴]

当ホームは四方の山々や川、田園に囲まれた広い敷地であって、クリニックや薬局、デイサービスセンターもあり、ゆったりと生活できる環境にある。代表者はホームによく顔を出し、利用者と食事を取り、利用者にとって食事が楽しみのひとつになっているか心配している。又、暮らしを大切に、家事は自分でできる事を役割分担し、野菜作り・季節の行事など生活を楽しんでいる。「笑い声のある暮らし、手と手をつないで輪はっは」を、スローガンに職員一丸となって、笑い声のある暮らしをめざし、利用者の安全とその人らしい生活を支えている。

[重点項目への取り組み状況]

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価で脱衣場にある洗剤保管にあたって、管理の指摘があり、安全面を考慮した改善策ができていた。年間研修計画も作成され、職員が交互に研修を受ける機会の確保に努力している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者・職員全員で取り組み、初心にかえる機会にもなっている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	現在までに5回、開催されている。ホームの取り組み等の報告が主になっている。出席者の意見をもらってサービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	家族の意見、苦情等の対応方法として、意見箱を設置しているが、活用されていない。家族会や面会時に直接、聞く体制をとっている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	行事に参加したり、ボランティアの受け入れ、園児や中学生との交流を行っている。地元の方がホームに立ち寄り、利用者とお茶飲みをする事もある。10月より認知症デイサービスセンター開業により、地域との連携がますます密になることを期待したい。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げている。今年度は「笑い声のある暮らし。手と手をつないで輪はっは」をスローガンとしてサービスに力を注いでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送りの時、理念を唱和している。傾聴する・待つ・笑顔で接し、言葉かけするなど理念を共有し、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	特老の行事に参加したり、ボランティアの受け入れ、園児や中学生との交流がある。敷地内にあるクリニック受診にきた地元の人達が立ち寄り、利用者とお茶飲みしながら、談笑する事もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は管理者を中心に職員全員がかかわる。一年に一回初心にかえる機会にもなっている。外部評価についても職員に報告され、具体的な改善に向けて話し合いをしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。内容はホームの取り組み等の報告が主になっている。出席者の意見をサービス向上に活かしている。構成メンバーに地域代表の参加がない。	○	運営推進委員会構成メンバーに地域代表の参加をつのり、地域の理解と支援を得る地域密着型活動を期待したい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市職員と連携をもって協力体制ができている。在宅介護支援センターとの連携もできている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話で近況報告している。利用者の日常の暮らしや様子を便りや写真にして郵送している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、新年会、面会の折に意見等をもらって運営に反映させている。又、意見箱も設置している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動を必要最少限におさえている。代わる場合は利用者のダメージを防ぐための努力を図っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修計画がある。法人内である研修に参加している。隣接の医師の勉強会に月、1回参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流の機会がほとんどない。	○	近隣にある同業者との交流の場が情報交換となり、双方のサービスの質、向上につながる取り組みに期待したい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の意思を大切にしている。入居の際は事前に見学してもらったり、ショートステイを利用しながらホームの雰囲気に徐々に馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活をするという支援を重視し、共に学び支えあう関係ができています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの暮らしを本人や家族に聞いて希望・意向の把握に努めている。個々に応じた暮らしの支援ができている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや家族の意向を聞き、職員全員の意見を取り入れた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要の関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、ケア会議を行い、検討した上で現状に即した見直しをしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の現状に応じて通院など必要な支援を柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望を大切に、かかりつけ医とのよりよい関係を築きながら支援している。2ヶ月に1回は定期検診をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在は終末期における支援実績はない。かかりつけ医・家族と相談した上で重度化した場合や終末期の対応体制の共有はできている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は日常の声かけや支援の中で一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように心がけている。個人情報の取り扱いにも注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりに声かけし、利用者のペースを大切に、希望にそって支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の力を活かしながら下準備・盛り付け・片付けなど職員と共に行っている。毎食前、利用者がメニューの紹介をして目で楽しみ、味覚で味わう、感謝の気持ちを大事に、食事を楽しむ支援が行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	温泉浴である。一人ひとりのタイミングに合わせて見守りながらの入浴を支援している。時には同敷地内のクリニックにある大浴場を楽しむ利用者もいる。レジオネラ検査も定期的に実施している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理や洗濯干しなど、役割分担の仕事を楽しんでいる。又、趣味や野菜作りにも励んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の野山の散策をしながら野草をつんで生け花にして楽しんでいる。週1回は外出して職員が見守る中、利用者が自分の財布を使って買い物を楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関に鍵はかけていない。隣接の施設の協力をもらって見守りを重視している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災避難訓練を年2回、通報訓練も毎月、行っている。	○	地域住民・警察署・消防署との連携を図りながら、地震災害等の避難訓練や非常用食料・備品の準備が望ましい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立で行っている。個人ファイルに食事量・水分量の記載があり、利用者の状態に合わせて支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るい。花を生けたり、観葉植物を置いたりして生活感・季節感が感じ取れるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳敷の個室になっている。臭気もなく、使い慣れたものを持ってきて利用者個々に応じた、居心地良い居室になっている。		